



# はまだっこ



## がっきまつこべつこんだん きぼうしゃ 2学期末個別懇談(希望者)について

今年度から連絡表の内容も四日市市内で統一され、個別懇談の在り方と文章で記述する行動所見をどの学期で書くのがよいか検討をしてきました。また、教職員の働き方の目標として、時間外勤務年間360時間以内、月平均30時間以内(日平均にすると1時間30分以内、上限月45時間以内)が義務化されました。さらに、コロナ感染予防のために学校閉鎖されていた期間の授業時数確保も解決すべき課題に位置付けられました。



こうしたことを総合的に判断し、個別懇談については1学期は全児童を対象に実施し、2学期は希望者のみとさせていただき、行動所見は2学期に記述していくこととしました。どうか、この判断につきましましては、ご理解いただきたいと思ひます。

そこで、12月24日(木)(23日予備日)の個別懇談の希望があるかどうか、別紙用紙に記述いただき、11月20日(金)を締め切り日として、各担任までご提出ください。両日の日程は、以下のように計画しています。よろしくお願ひします。

- ・12月24日(木) 13:30~16:30 児童は特別日課4限授業・給食後下校
- ・12月23日(水) 15:00~16:30 水曜日日課5限授業

なお、コロナ感染予防のため、懇談前の検温(各家庭にて)と手指消毒(児童昇降口にアルコール消毒を設置)、1学期同様アクリル板の使用にご協力ください。また、暖房をしながら換気も行いますので、防寒もよろしくお願ひします。

## ねんせいせいかつか ふゆ はな そだ 1年生生活科 冬の花を育てよう

今年度も、1年生は生活科の栽培活動として、冬から春にかけて咲く花を自分の植木鉢で育てます。今年度から大きな植木鉢になっているので、花の苗を2株(パンジー、ビオラから1種類を選び、2種類目はパンジー、ビオラ、サクラソウ、デージー、クリサンセマムから選びました。)、チューリップの球根2球を選び、十文字型になるように植えました。

保護者の皆様に土を残して植木鉢を学校に戻していただきましたので、その土を一度出し、新しい土と肥料をブレンドして、浜田公園で落ち葉を拾ひ、植木鉢



の底に引いて、土を入れなおしました。土のブレンドの割合は、校長の長年の経験で混ぜさせてもらいました。2か月ほど水やりをしていなかった植木鉢の土は、石のように硬くなっていたので、スコップなどで砕いて、後は手でひたすらもみ潰してブレンドしました。

1年生の子どもたちには、なぜ花を育てるのか、二つの目的を話しました。一つは、生活科での栽培活動として、冬の栽培活動のコツをみつけていこうということです。水やりのヒントは最初に伝えましたが、花をたくさん咲かせるためには、花が枯れた時に毎日こつこつとしなければいけないお世話があります。そのお世話をさぼると、花が咲かなくなってしまう。「花は何のために咲くのか」を考えるとわかってきます。二つ目は3月19日に卒業をしていく6年生に「卒業おめでとう。お世話になってありがとうございます。」の気持ちを伝えるために育てるということです。今年度の卒業式も、このままであれば、在校生は出席できません。5年生の出席も難しいと思われます。そこで、6年生に一番お世話になった1年生が在校生を代表して、体育館につながる通路に心をこめて育てた花を並べて、卒業式に花を添えてほしいと、お願いしました。「そしたら、ありがとうございますの気持ちで水やりをする。」「大きく育てという気持ちで水やりをします。」と、教えてくれた1年生です。

この日の放課後、残った花の苗を浜田公園の通路で植えていると、「校長先生、お花の育て方を教えてくれてありがとうございます。家でもやってみたいと思います。」と、話しかけてくれる子がいて、たくさんの1年生から会う度に「校長先生、ありがとうございます。」と声をかけてもらいました。本当は私の方こそ「いっしょに花を育ててくれてありがとうございます。」なのです。

## 4年生図工 ギコギコクリエイター

4年生は図工の時間に、木材の破材を使って、自分で思いつくままにいろいろな形を作成する「ギコギコクリエイター」に取り組んでします。今年はその破材を安藤さんにお世話になり、地域の建具屋さんから事前に子どもたちが扱いやすい大きさに切っていたきれいな破材をいただき、



材料とさせてもらいました。さらに、「それなら、お手伝いにも来ます。」と、安藤さんが授業でゲストティーチャーに入ってくさっています。

11日(水)は朝の交通指導のあとそのままマイ道具箱を持参され、4限目までずっと図工室で、4年生にノコギリの使い方と釘を真っすぐ思った所に打ち付けるコツを教えてくださいました。私が、その様子を見に行かせてもらった時には、図工室に安藤さんと4人の先生(図工専科、担任、わかくさ担任、教頭先生)が入って、まさに手取り足取り、子どもたちの制作を支援していました。少し慣れてくると、ノコギリの歯で手を切ったり、金槌で自分の手を打ったりと、何人かがけがをしたと聞いて、教頭先生まで指導に入ってくれました。子どもたちは、作品作りに夢中になっていて、楽しそうでした。